

令和4年度 長小だより1月号

かなね



校訓：明るく 強く 正しく

長久手市立長久手小学校 教頭 高村 渉

学校教育目標：夢と希望をもち 進んで学び 挑戦し続ける 長小の子

令和5年が無事に始まりました。コロナ禍も近く4年目をむかえようとしています。制約のある環境が続きますが、むしろチャンスととらえ、柔軟な発想と工夫で教育活動の改善を行っています。少しずつですが、子どもたちの笑顔の見える場面が増えてきました。今後も「学びを止めない」を合い言葉に、教職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。本年も本校の教育活動に、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



さて、今年は「飛躍」や「向上」の年といわれる卯年です。

愛らしい魅力がいっぱいで、子どもたちに大人気のウサギですが、疑問に思っていることもたくさんあるようです。いくつか挙げてみました。

卯・兎・ウサギの使い分けは？

漢字で書く場合、十二支のことをさすなら「卯」、動物のことをさすなら「兎」をあてます。図鑑や教科書へ生物学的に記載される場合は、片仮名で「ウサギ」と表記されます。

ウサギの数え方って？

昔からウサギを「羽」と数えますが、仏教の教えで四足の動物を食べることを禁じられていたため鳥として扱った、獲物の耳を束ねて持ち歩くことから「一把、二把」となり「一羽、二羽」に転じた等の説によるものです。現在は、家畜としては「羽」、ペットとしては「匹」が多いようです。

ウサギにまつわることわざは、どんなものがあるの？

・うさぎののぼり坂

物事がよい条件に恵まれ、早く進むこと。

・脱兎(だつと)の勢い

逃げるうさぎのように素早いこと。

・うさぎの昼寝

油断をして思わぬ失敗を招くこと。

・うさぎの耳

人の知らない事件やうわさなどをよく聞き出してくること。

・うさぎ、波を走る

月影が水面に映っている様子をたとえたもの。月の光が当たると波が白く輝き、うさぎが走っているように見えることからきている。



外国語活動について勉強会を行いました

1月6日(金)本校図書室に講師を招き、クラスルームイングリッシュについての勉強会を行いました。授業内における挨拶、児童への指示・質問、激励の言葉など、繰り返し使われる英語表現を学びました。今後もゲームやアクティビティ、デジタル教材を活用して、楽しく授業を進めることができるように研修を重ね、教育技術の向上に努めてまいります。

